

ヤマシンフィルタ株式会社 2018年3月第2四半期 決算説明会

~中国市場は今後**5**年間は堅調推移
この期間中で確実な基盤構築を目指す~

新事業領域への挑戦

2017年11月20日
(証券コード:6240)



I

決算報告 井岡執行役員

~MAVY'sによる企業価値向上~

P. 3

II

売上拡大に向けての取り組み 大越取締役

~既存事業の基盤強化と新たな取り組み~

P.33

III

中国市場と当社の中期的な方針 山崎社長

~「一帯一路」に絡むインフラ投資の拡大~

P.39

決算報告

井岡執行役員

MAVY'sによる企業価値向上



1. 2018年3月期第2四半期(中間)決算概要

売上・損益

売上高	6,239百万円 前年同期比 30.4%増収
売上総利益	2,854百万円 前年同期比 33.4%増益、粗利率45.7%、前期比1.0%改善 (粗利率改善内容 : 売上増加 0.9%、PAC17コストダウン0.1%)
営業利益	967百万円 前年同期比 121.9%増益 前期比6.4%改善(営業利益率改善 内容 : 売上増加 5.6%、PAC17コストダウン0.6%)
純利益	609百万円 前年同期比 123.3%増益

セグメント状況

地域別セグメントの状況

日本	中国向け建機需要増加及び首都圏を中心としたオリンピック建設需要増加により需要は前年を上回る
北米	堅調な住宅関連投資の推移により、需要増加継続
欧州	ドイツを中心に堅調に推移
東南アジア	インドネシアやマレーシアを中心に全体で需要増加
中国	インフラ投資拡大に伴う建機需要の大幅な増加が継続

セグメント状況

ライン品・補給品別セグメント状況

ライン品	中国市場を牽引役に世界主要市場での旺盛な建機需要の下、主要得意先の生産計画増加により、対前年同期比41.7%増収
補給品	新車増産に伴う市場累積台数増加及び稼働時間の増加により、対前年同期比25.3%増収
その他売上	
プロセス品	国内及び中国向け液晶用フィルタ等の売上増加により、対前年同期比11.7%増収
産業製品	新幹線向けコンプレッサ需要等により、対前年同期比32.2%増収

販売管理費

- 増収を主因にPAC17による経費削減もあり、販売管理費比率30.2% 前年比5.4%改善

為替変動の影響

- 為替リスクのエクスポージャーは、連結グループ内為替マリーにより、為替リスクは極めて軽微
- 外貨持高によるQ2のエクスポージャーは約26百万円

2018年3月第2四半期決算ハイライト

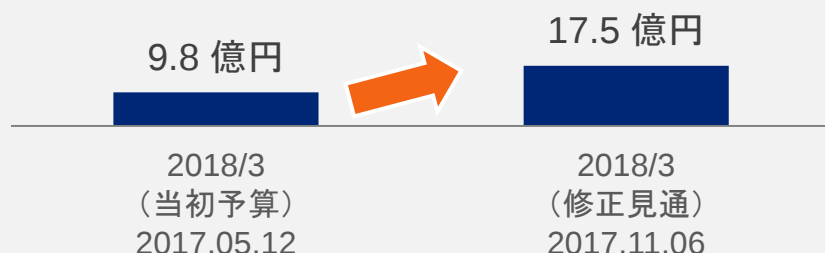
当社決算の特徴

売上高計画進捗率

第2四半期進捗 **49.9%**
対修正見通比

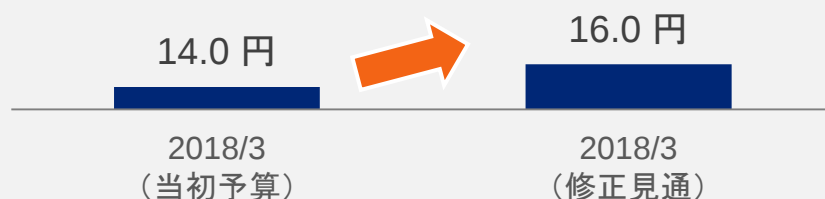
営業利益予想

通期会社予想 計画修正 **あり**



配当予想

期末配当予想 修正 **あり**



(注) 株式分割換算前にて記載

対修正見通比

P/L分析

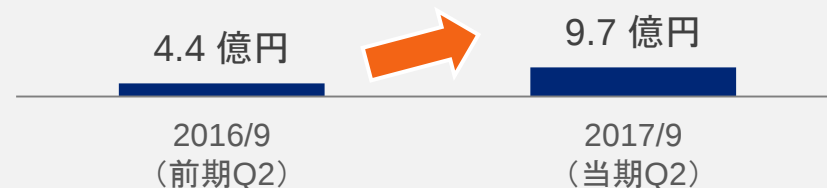
売上高

大幅増収 **30.4%増**



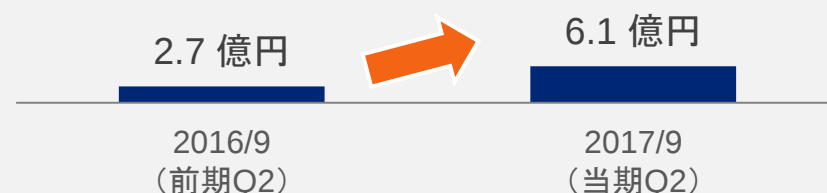
営業利益

大幅増益 **121.9%増**



最終利益

最終増益 **123.3%増**



- 管理部門にとどまらず、現場にまで企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY's とは (ROIC - WACC = EVA)

 aximizing  dded  alue of  amashin Filter  pread

投下資本の利潤最大化を目指し、各責任部署が(KPI)を設定し
業務に取り組む(KSF)ための最重要指標(KGI)

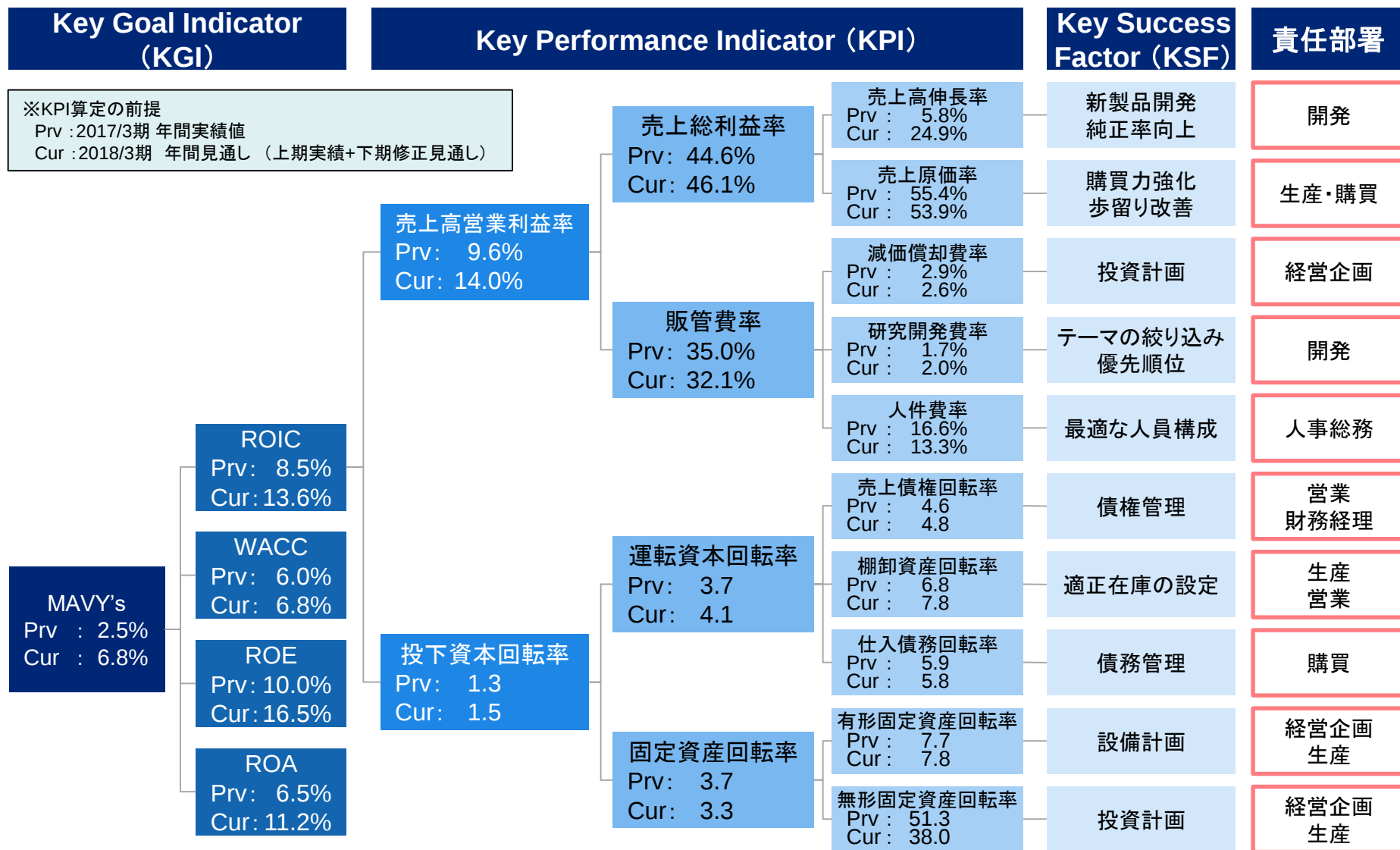


MAVY's (EVA)
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える。



各指標に対して、担当部署を割り
振り、各KPIを設定して目標達成に
向けた業務運営を全社にて行う。

MAVY'sの全体像と責任部署



1. 2018年3月期第2四半期(中間)決算概要

① 2018年3月期 第2四半期業績(7月~9月)

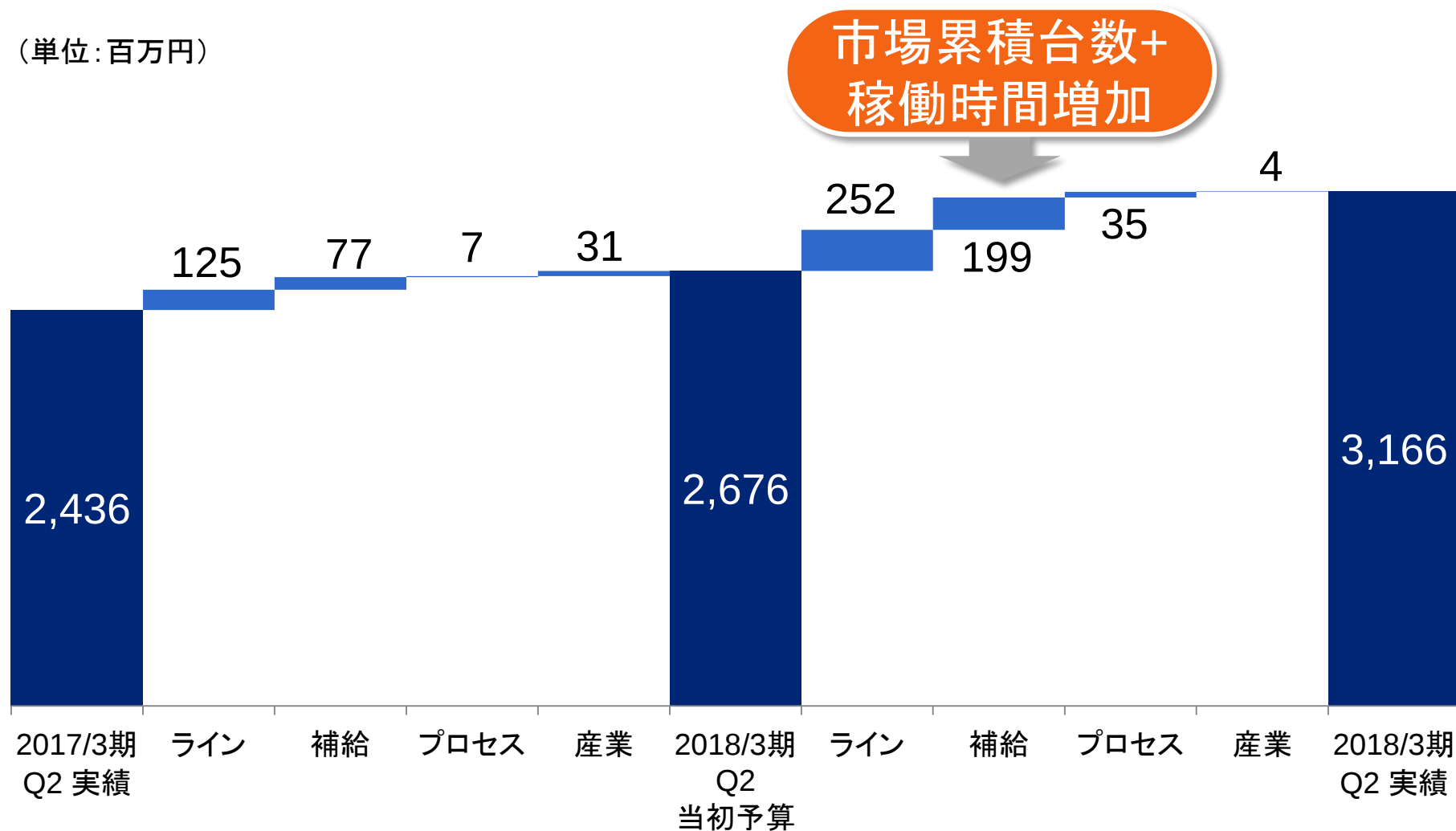
2018年3月期 2Q決算サマリー(前期比) -QTD-

(単位: 百万円)	2017/3期 実績	2018/3期 実績	増減	
	第2四半期	第2四半期	金額	%
売上高	2,436	3,166	730	30.0%
営業利益	243	455	211	86.8%
営業利益率	10.0%	14.4%	-	4.4%
経常利益	224	449	224	99.9%
経常利益率	9.2%	14.2%	-	5.0%
当期純利益	113	253	140	124.3%
純利益率	4.6%	8.0%	-	3.4%

為替レート AR USD	102.4	111.0	8.6	8.4%
EUR	114.3	130.4	16.1	14.1%

売上高の増減要因(前年比較) -QTD-

(単位:百万円)

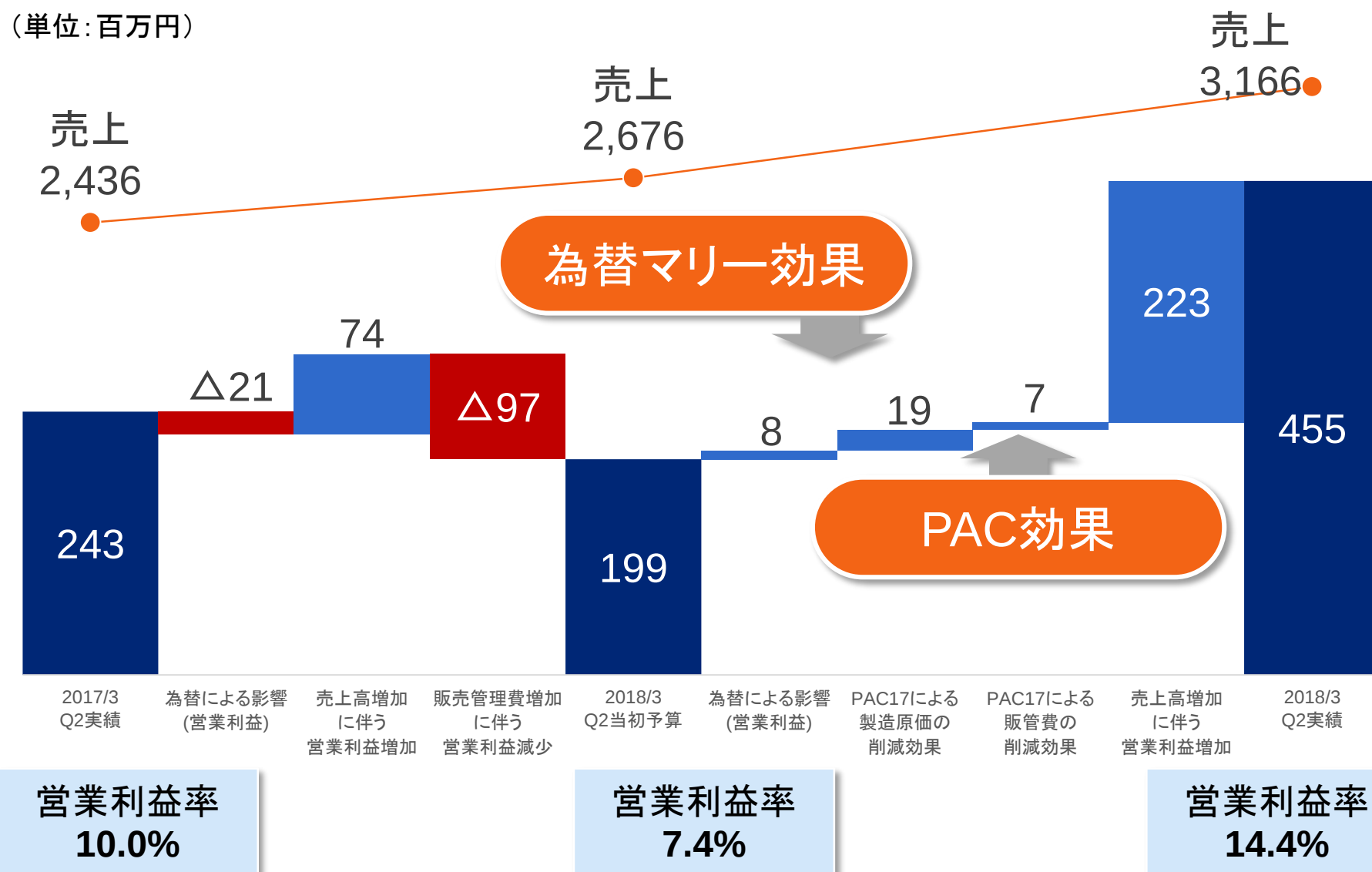


※連結調整項目は建機用フィルタに含めて表示しております。(有価証券報告書開示基準)

営業利益の前期比較による増減要因

-QTD-

(単位: 百万円)



1. 2018年3月期 第2四半期(中間)決算概要

② 2018年3月期 第2四半期業績(4月~9月)

2018年3月期 2Q決算サマリー(前期比) -YTD-

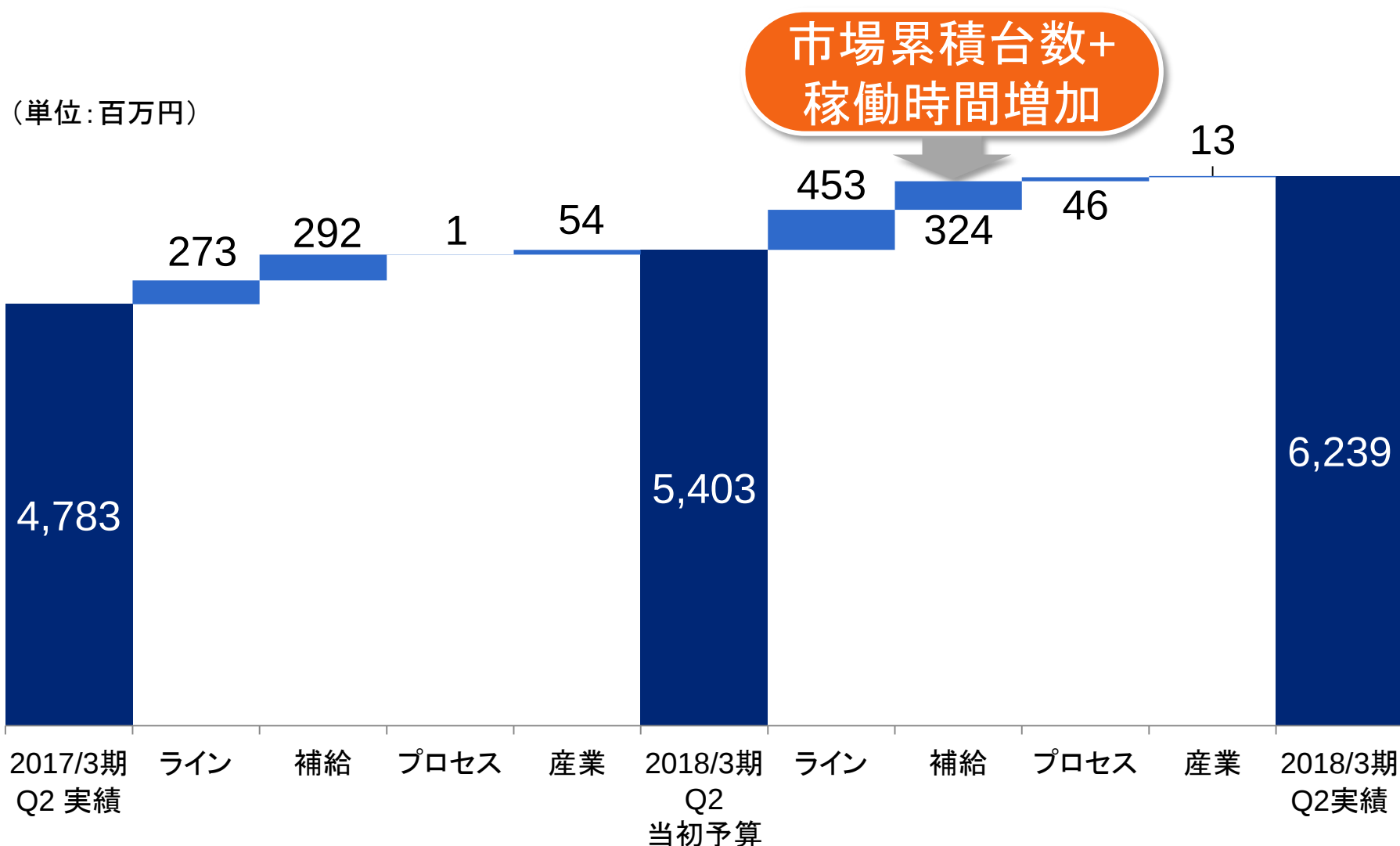


(単位: 百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計	金額	%
売上高	4,783	6,239	1,455	30.4%
営業利益	436	967	531	121.9%
営業利益率	9.1%	15.5%	-	6.4%
経常利益	419	939	519	123.7%
経常利益率	8.8%	15.1%	-	6.3%
当期純利益	273	609	336	123.3%
純利益率	5.7%	9.8%	-	4.1%

為替レート AR USD	105.3	111.1	5.8	5.5%
EUR	118.2	126.3	8.1	6.9%

売上高の増減要因(前年比較) -YTD-

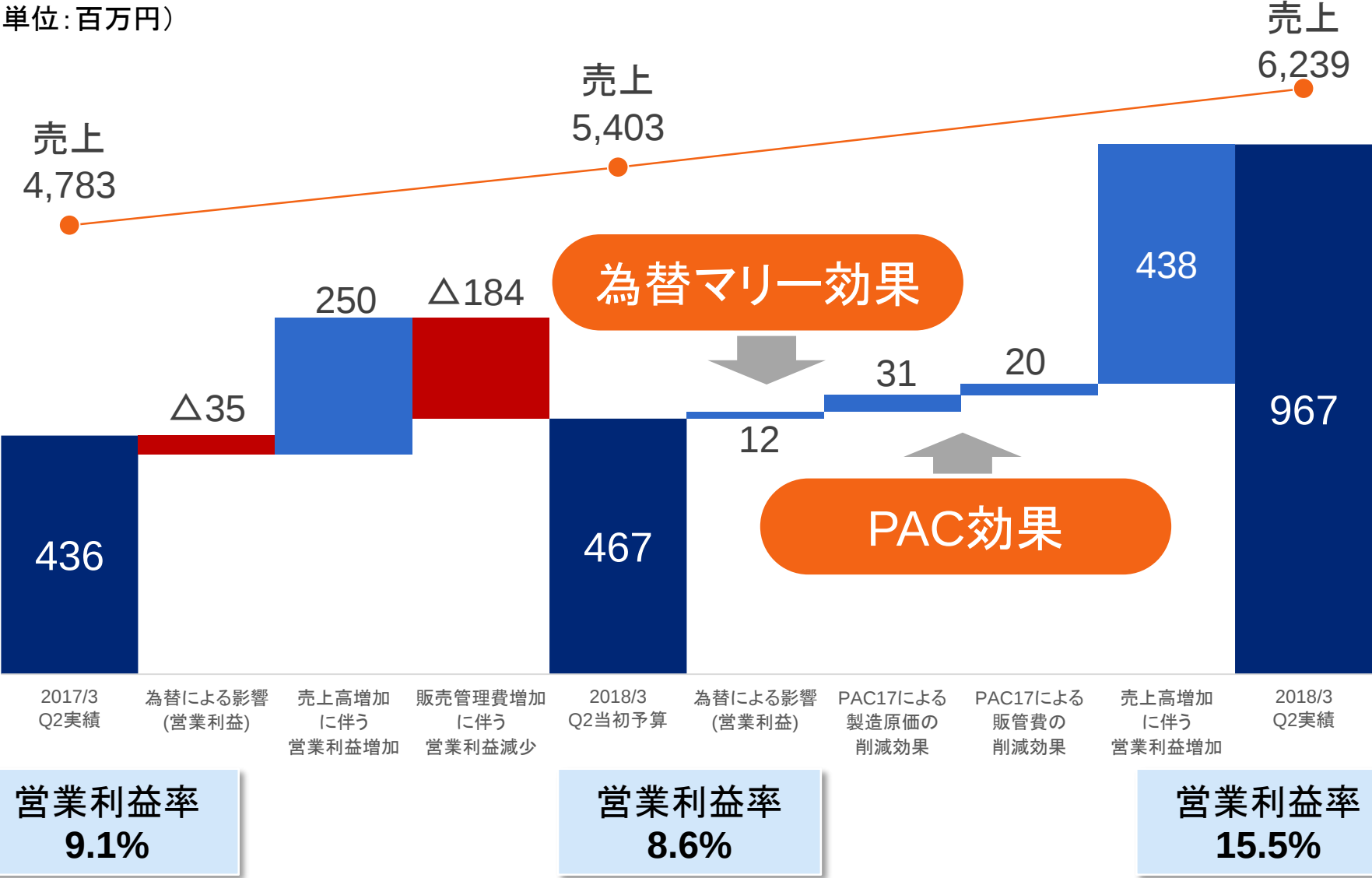


※連結調整項目は建機用フィルタに含めて表示しております。(有価証券報告書開示基準)

営業利益の前期比較による増減要因 -YTD-



(単位: 百万円)



2018年3月期 2Q貸借対照表

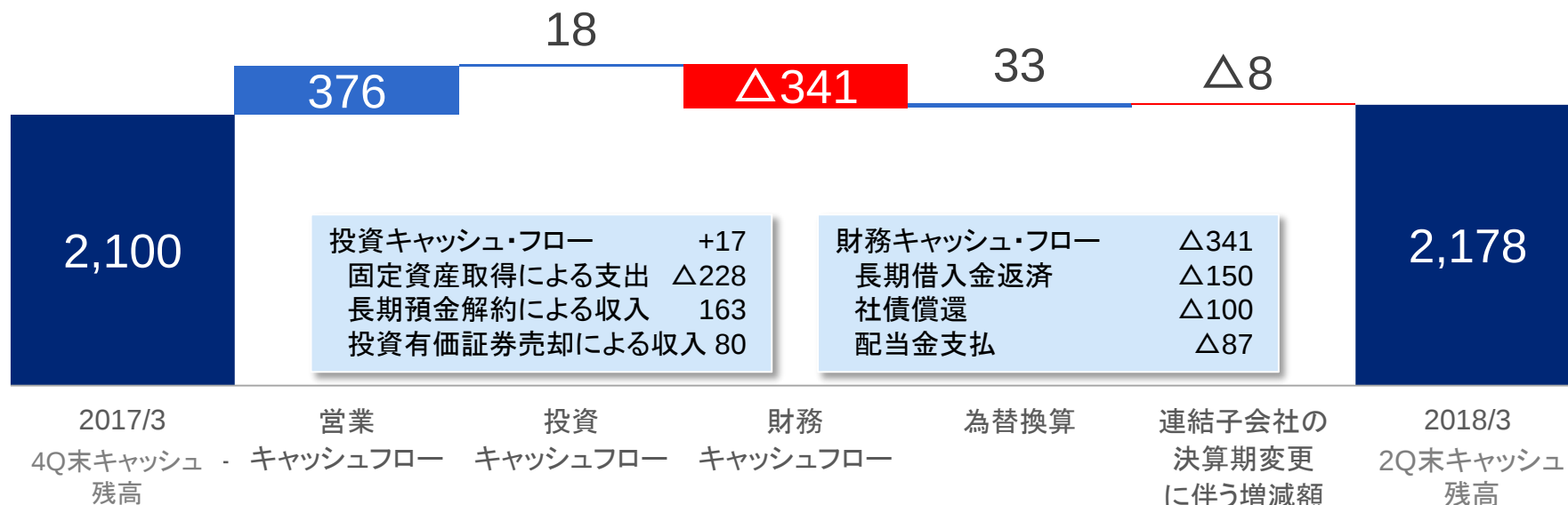
(単位:百万円)	2017/3期 期末	2018/3期 Q2	増減率
流動資産	6,695	7,447	11.2%
現金・預金	2,263	2,178	△3.7%
受取手形及び 売掛金	2,480	2,921	17.8%
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	1,457	1,830	25.6%
その他	493	516	4.7%
固定資産	3,462	3,522	1.7%
有形固定資産	1,272	1,289	1.4%
無形固定資産	292	418	42.8%
投資その他資産	1,897	1,814	△4.4%
資産合計	10,158	10,970	8.0%

商品・製品 & 原材料・貯蔵品 増加要因: 売上高増加による

	2017/3期 期末	2018/3期 Q2	増減率
流動負債	2,374	2,829	19.2%
支払手形及び 買掛金	1,085	1,558	43.5%
短期借入金 1年以内返済 社債・長借	500	500	-
その他	788	771	△2.1%
固定負債	1,131	871	△22.9%
社債	600	500	△16.7%
長期借入金	150	-	△100.0%
退職給付に係る 負債	173	165	△4.8%
その他	207	206	△0.6%
純資産合計	6,652	7,268	9.3%
負債純資産合計	10,158	10,970	8.0%

*自己資本比率 65.5% 66.3%

2018年3月期 2Qキャッシュフロー



	2017/3期	2018/3期Q2
	累計金額	累計金額
(単位: 百万円)		
営業活動によるキャッシュフロー	952	376
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,889	17
フリーキャッシュフロー	△ 936	393
財務活動によるキャッシュフロー	△ 634	△ 341
現金及び現金同等物の換算差額	△35	33
キャッシュフロー増減額	△ 1,605	86
連結子会社の決算期変更に伴う増減額	-	△ 8
現金及び現金同等物の期末残高	2,100	2,178

為替マリーの状況 -YTD-

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約3.5百万円増益
- 為替感応度は約0.4%

Currency	Inflow			Outflow			Net	期中平均 レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	円換算	構成比	各通貨	円換算	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥7,800.0	¥7,800.0	72%	¥6,800.0	¥6,800.0	66%	¥1,000.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$24.3	¥2,699.2	25%	\$24.1	¥2,677.0	26%	\$0.2	¥111.1	¥99.97	¥-11.11	¥-2.22	¥122.19	¥11.11	¥2.22
EUR	€ 1.9	¥240.0	2%	€ 1.3	¥164.2	2%	€ 0.6	¥126.3	¥113.67	¥-12.6	¥-7.58	¥138.93	¥12.63	¥7.58
PHP	PP0.0	¥0.0	0%	PP253.0	¥559.1	5%	PP-253.0	¥2.2	¥1.99	¥-0.2	¥55.91	¥2.43	¥0.22	¥-55.91
THB	฿34.60	¥113.5	1%	฿11.10	¥36.4	0%	฿23.50	¥3.3	¥2.95	¥-0.3	¥-7.71	¥3.61	¥0.33	¥7.71
Total	-	¥10,852.7	100%	-	¥10,236.8	100%	-	-	-	-	¥38.41	-	-	¥-38.41

※前期及び今期 ARは、4月～9月の6か月間の平均レートを使用

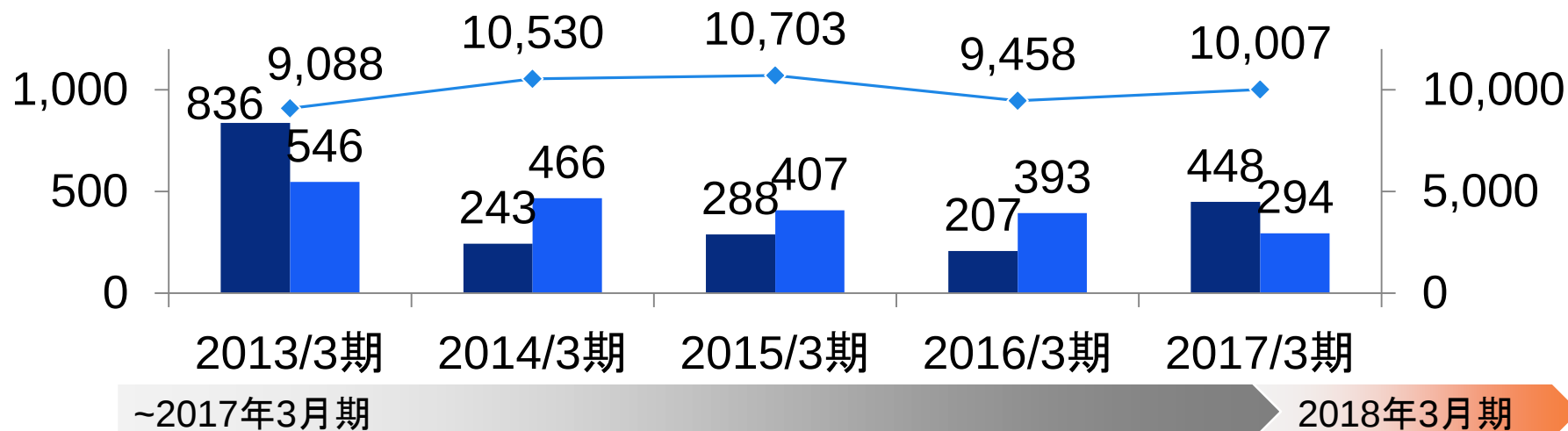
設備投資及び減価償却費 年度別推移

(単位:百万円)	2013/3期 連結	2014/3期 連結	2015/3期 連結	2016/3期 連結	2017/3期 連結	2018/2Q 連結
売上高	9,088	10,530	10,703	9,458	10,007	6,239
設備投資額	836	243	288	207	448	267
構成比%)	9.2%	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	4.3%
減価償却費	546	466	407	393	294	122
構成比%)	6.0%	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.0%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移(前期と今期)

(単位:百万円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ◆ 売上高



2. 2018年3月期 通期業績見通し

2018年3月期 通期業績予想 ~前期比較~

- 2017年3月期実績 vs 2018年3月期当初予算(2017年5月12日公表値)
vs 2018年3月期修正見通し(2017年11月6日公表値)

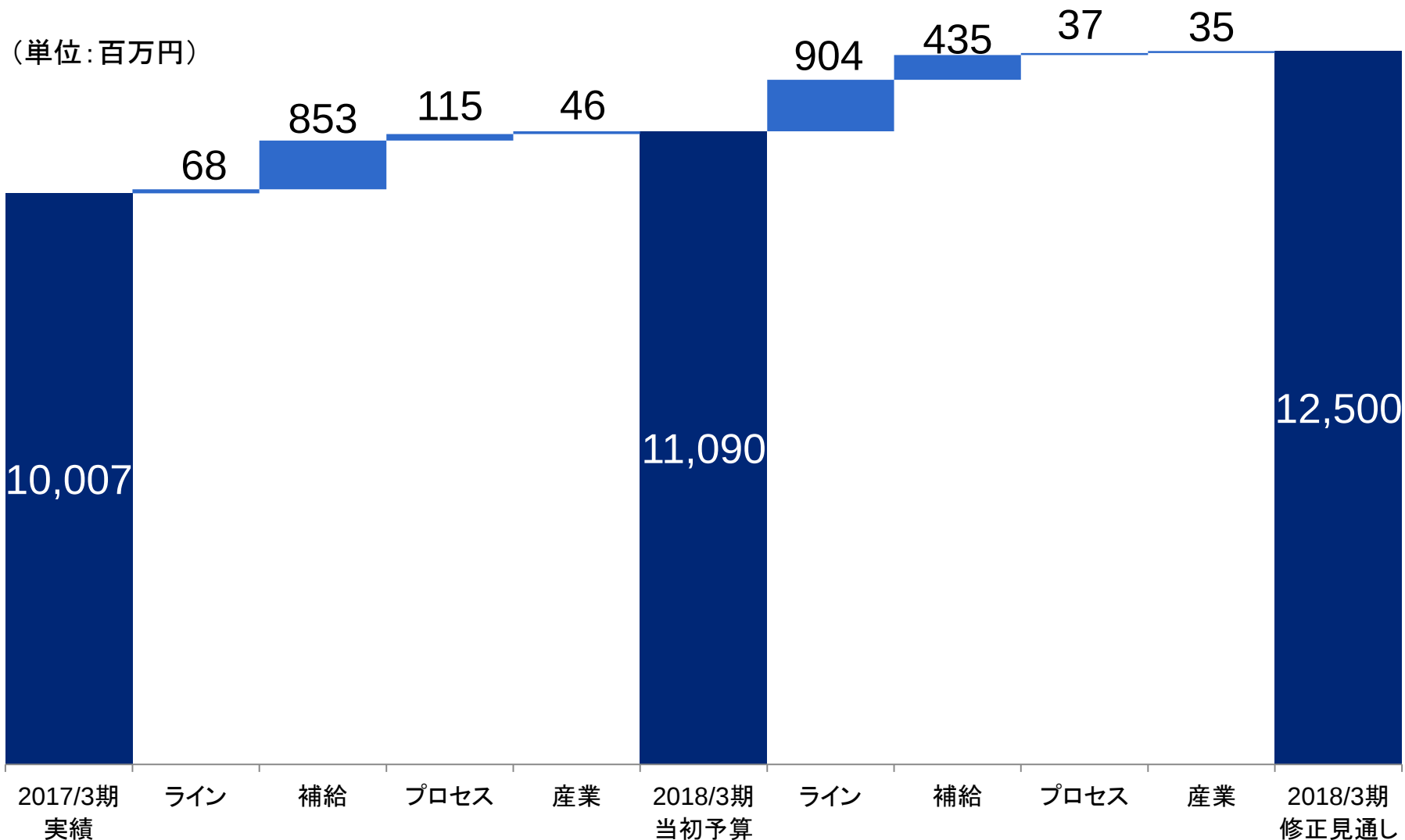
(単位:百万円)	2017/3期 実績	2018/3期 当初予算	2018/3期 修正見通し	対 前期実績	対 当初予算
	金額	金額	金額	%	%
売上高	10,007	11,090	12,500	24.9%	12.7%
営業利益	957	980	1,750	82.7%	78.6%
営業利益率	9.6%	8.8%	14.0%	4.4%	5.2%
経常利益	934	970	1,720	84.1%	77.3%
経常利益率	9.3%	8.7%	13.8%	4.4%	5.0%
当期純利益	640	660	1,180	84.4%	78.8%
純利益率	6.4%	6.0%	9.4%	3.0%	3.5%
為替レート AR USD	108.4	115.0	115.0	6.1%	-
EUR	118.8	120.0	120.0	1.0%	-

2018年3月期 通期業績予想 ~四半期推移~

■ -四半期推移- （2018年3月期修正見通し）

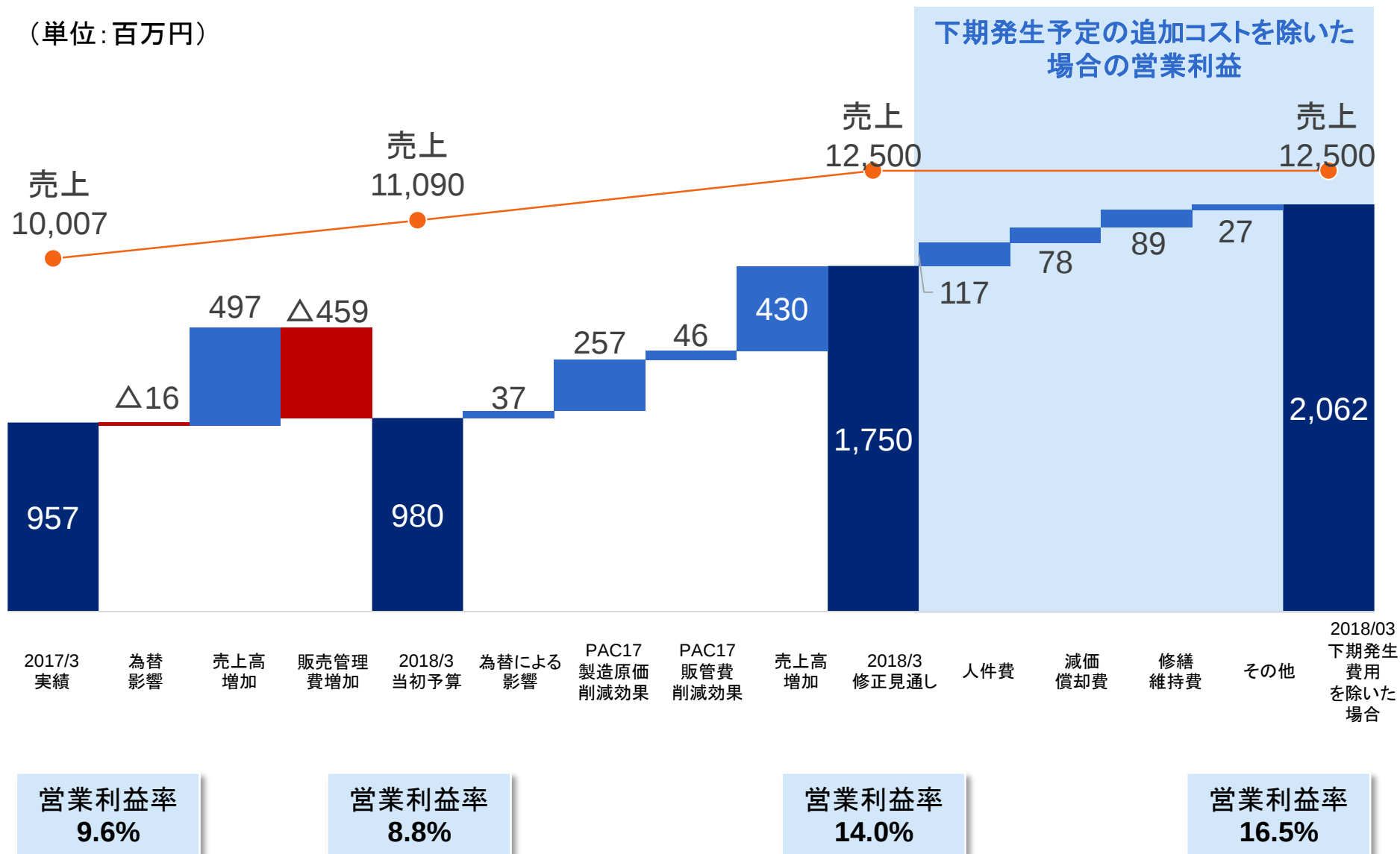
(単位:百万円)	2018/3期	2018/3期	2018/3期	2018/3期	2018/3期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 見通し	4Q 見通し	通期
売上高	3,072	3,166	3,210	3,050	12,500
営業利益	512	455	409	372	1,750
営業利益率	16.7%	14.4%	12.8%	12.2%	14.0%
経常利益	490	449	407	373	1,720
経常利益率	16.0%	14.2%	12.7%	12.2%	13.8%
当期純利益	355	253	286	283	1,180
純利益率	11.6%	8.0%	8.9%	9.3%	9.4%
為替レート AR USD	111.1	111.0	115.0	115.0	115.0
EUR	122.2	130.4	120.0	120.0	120.0

2018年3月期 通期売上高見通し



2018年3月期 通期営業利益見通し

(単位: 百万円)



- 2017年10月より、成長戦略実施に必要な人材確保、新ERP稼働開始に伴う減価償却費、保守費用の発生により販管費増加

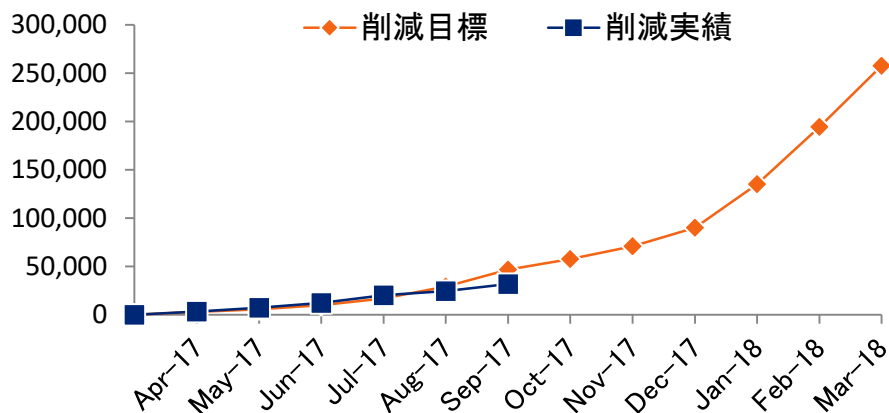
(単位:百万円)

項目	下期発生コスト
人件費(新素材開発要員等)	117
減価償却費(ERP、機械設備等)	78
修繕維持費(ERP導入サポート費用等)	89
その他(事業再編費用等)	27
合計	312

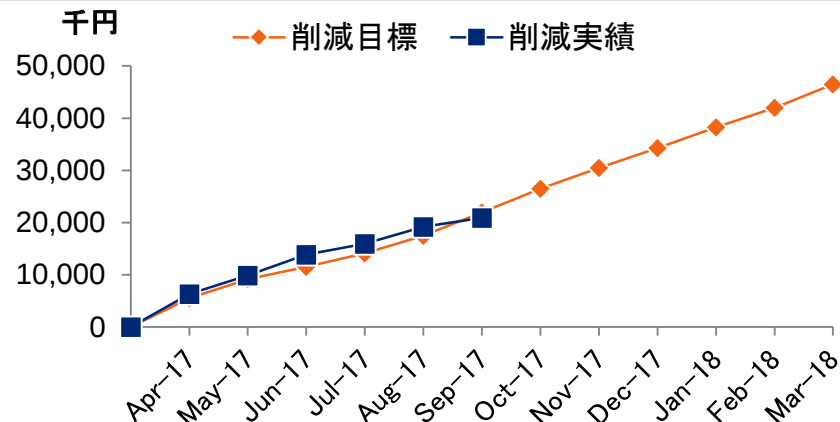
PAC17 達成率・進捗率 -連結-

- 2018年3月期 PAC17修正目標 製造原価 257百万円 販売管理費 46百万円 計303百万円
- 上期削減実績52百万円(進捗率17%)

製造原価



販売費一般管理費



(単位: 百万円)

		上期	下期	YTD
削減額合計	目標	△68	△235	△303
	実績	△52	-	△52
	進捗率	77%	-	17%
製造原価	目標	△46	△211	△257
	実績	△31	-	△31
	進捗率	68%	-	12%
販売費一般管理費	目標	△21	△24	△46
	実績	△20	-	△20
	進捗率	95%	-	43%

- グループ全体の経営管理体制を担う有用な人材を育成・確保していく
- 各拠点間の人材連携を強化し、効率化を図る

タレントマネジメント

グループ全体のキャリア
マップを作成、適材適所
制度・システム構築

ダイバーシティ

人材の多様性を踏まえた
採用育成プログラム

新人事制度

2017年4月より運用開始
役割の明確化・公平な評価

開発人員増強がテーマ

参考: 人件費・労務費構成比

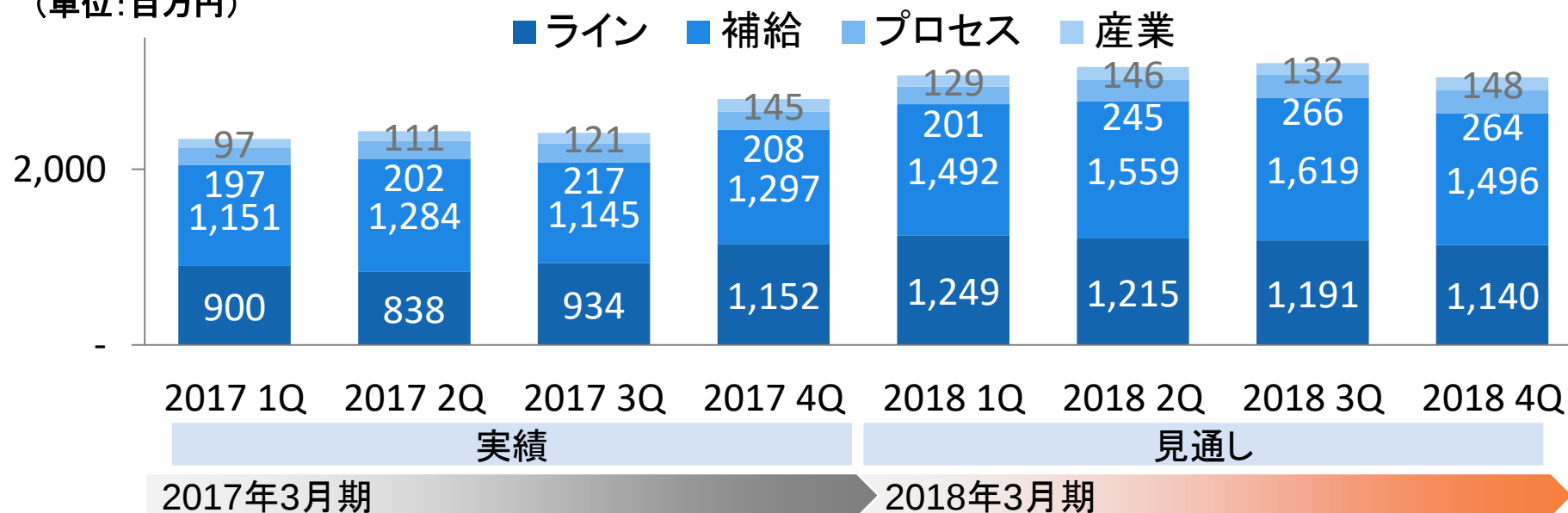
	17.3期	18.3期	前期比増減
	Q2実績	Q2実績	%
営業	33.1%	33.9%	0.8%
開発	20.5%	19.8%	△0.8%
生産	26.5%	26.4%	△0.1%
管理	19.9%	19.9%	△0.0%
合計	100.0%	100.0%	-

(参考)セグメント情報(製品別)見通し

(単位:百万円)

	2017年3月期					2018年3月期 見通し				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	Total	1Q 実績	2Q 実績	3Q見通	4Q見通	Total
建機用フィルタ	2,052	2,122	2,080	2,449	8,705	2,741	2,775	2,811	2,636	10,964
ライン品	900	838	934	1,152	3,825	1,249	1,215	1,191	1,140	4,796
補給品	1,151	1,284	1,145	1,297	4,879	1,492	1,559	1,619	1,496	6,167
産業用フィルタ	97	111	121	145	475	129	146	132	148	556
プロセス用フィルタ	197	202	217	208	826	201	245	266	264	978
合計	2,347	2,436	2,419	2,803	10,007	3,072	3,166	3,210	3,050	12,500

(単位:百万円)

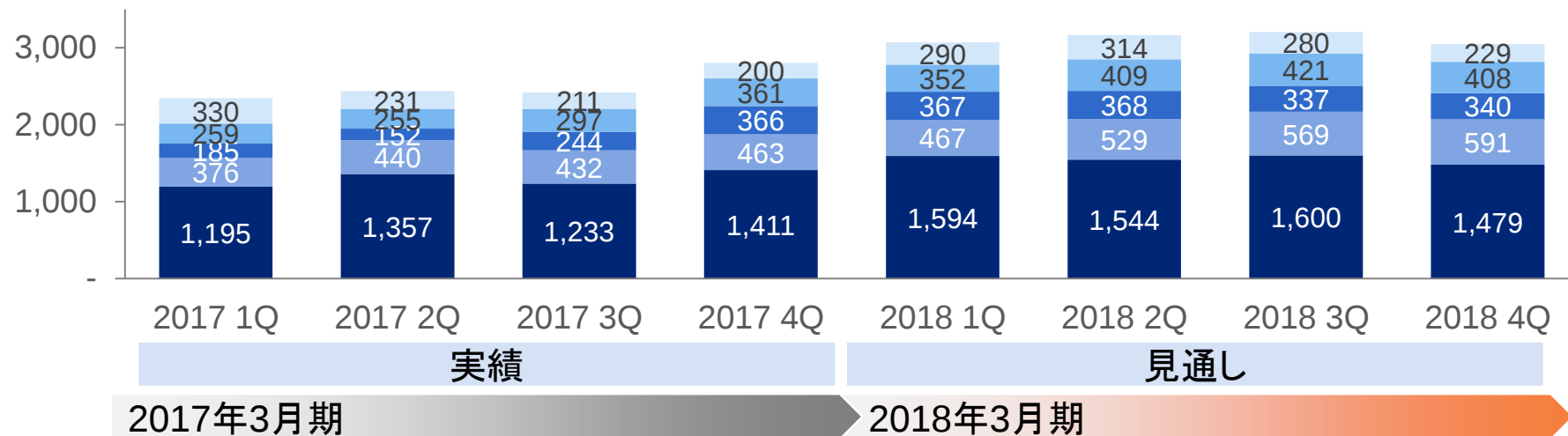


(参考)四半期別業績推移(地域別売上高推移)見通し

(単位:百万円)	2017年3月期					2018年3月期 見通し				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	Total	1Q 実績	2Q 実績	3Q見通	4Q見通	Total
国内	1,195	1,357	1,233	1,411	5,198	1,594	1,544	1,600	1,479	6,219
北米	376	440	432	463	1,712	467	529	569	591	2,158
中国	185	152	244	366	948	367	368	337	340	1,414
アジア	259	255	297	361	1,174	352	409	421	408	1,592
欧州・他	330	231	211	200	973	290	314	280	229	1,115
合計	2,347	2,436	2,419	2,803	10,007	3,072	3,166	3,210	3,050	12,500

(単位:百万円)

■ 国内 ■ 北米 ■ 中国 ■ アジア ■ 欧州・他

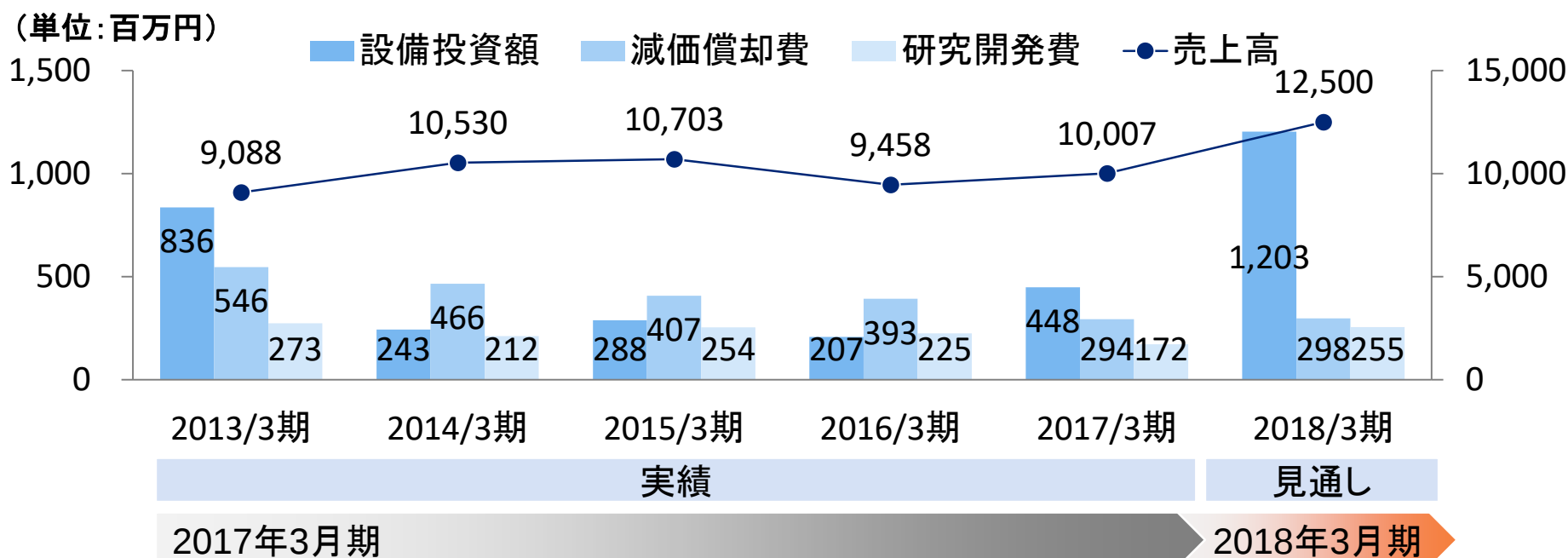


※地域別売上は、当社の請求書送付先である法人の所在地を集計しております。※その他:その他地域の売上高を含めて表示しております。

(参考)設備投資、減価償却費及び研究開発費 年度別推移

(単位:百万円)	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2018/3期
	実績	実績	実績	実績	実績	累計実績	見通	見通	通期見通
売上高	9,088	10,530	10,703	9,458	10,007	6,239	3,210	3,050	12,500
設備投資額	836	243	288	207	448	267	362	573	1,203
構成比%)	9.2%	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	4.3%	11.3%	18.8%	9.6%
減価償却費	546	466	407	393	294	122	80	95	298
構成比%)	6.0%	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.0%	2.5%	3.1%	2.4%
研究開発費	273	212	254	225	172	119	69	66	255
構成比%)	3.0%	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.1%	2.2%	2.0%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移(前期と今期)



売上拡大に向けての取り組み 大越取締役

既存事業の基盤強化と新たな取り組み

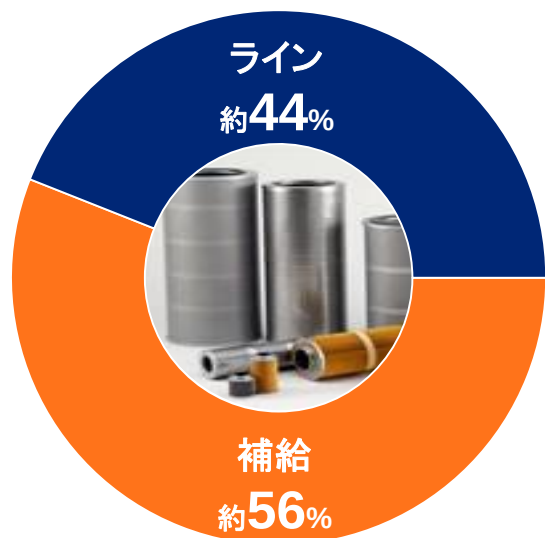


		対応方針のKeyword	効果検証
建機 フィルタ	ライン品	故障予知、ICT技術の提案	実機データ収集段階
		効率化の提案	実機試験段階へ
		中国建機メーカーへの拡販	中国建機メーカーへのM&Aの検討
	補給品	セミナー展開によって 非純正品からのシェア奪回	中国等のエリア特性に合わせた マーケティング活動を順次展開 東南アジア(ミャンマー)韓国系建 機の第二純正市場への参入
産業 フィルタ		パートナーとの協力体制強化	パートナーとの協業進む。 既存製品のコスト減へ M&Aを計画
プロセス フィルタ		製品シリーズの多様化	ラインナップ拡充に向けた開発を スタート M&A、OEMビジネスを計画



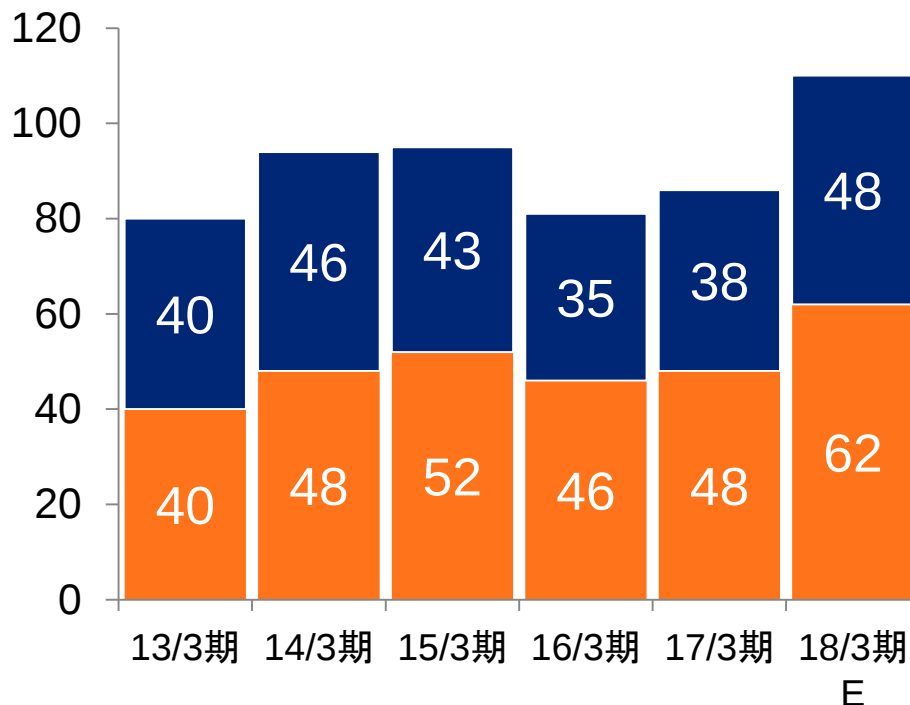
- 補給はストックモデル。
- 建機の稼働台数の蓄積により、安定した需要拡大が見込める

17.3期 建機用フィルタ 売上構成



補給・ラインの売上高推移

(単位: 億円) ■ 補給 ■ ライン



- 油圧作動油・潤滑油の清浄度センサ
- 今後、新素材を基にしたアプリケーションの開発に取り組んでいく

SWIFT ROCK™



SWIFTROCK™
スタンダードタイプ



SWIFTROCK™
廉価版

研究開発費・設備投資・減価償却費の推移

主な投資案件

17.3期

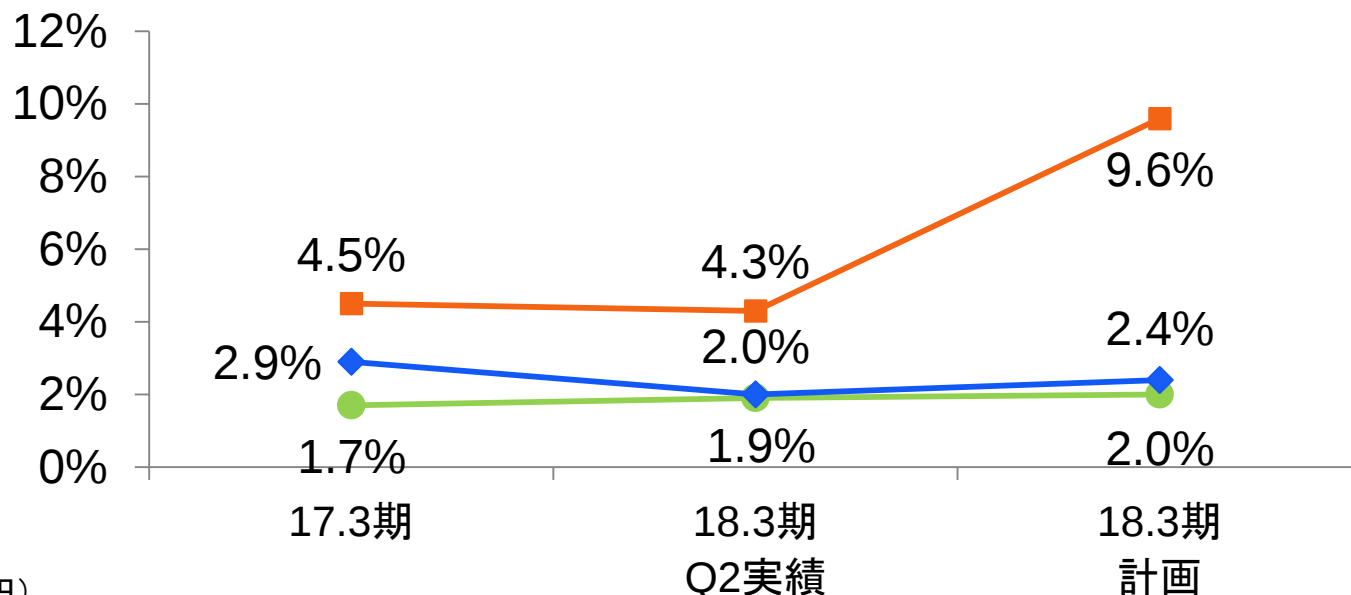
ERP関連
248百万円

18.3期

生産設備、
R&D関係等
646百万円

売上高
構成比%

● 研究開発費 ■ 設備投資 ◆ 減価償却費



(単位: 百万円)

● 研究開発費	172	119	255
■ 設備投資	448	267	1,203
◆ 減価償却費	294	122	298

中国市場と当社の中期的な方針

山崎社長

「一帯一路」に絡むインフラ投資の拡大



メインメッセージ

中国市場は今後5年間は堅調推移
この期間中で確実な基盤構築を目指す

建機プラスα

建機向け油圧フィルタに
依存しない新しい収益の柱を
少なくとも2つ立ち上げる

新素材の開発
M&A含む新事業領域の開拓

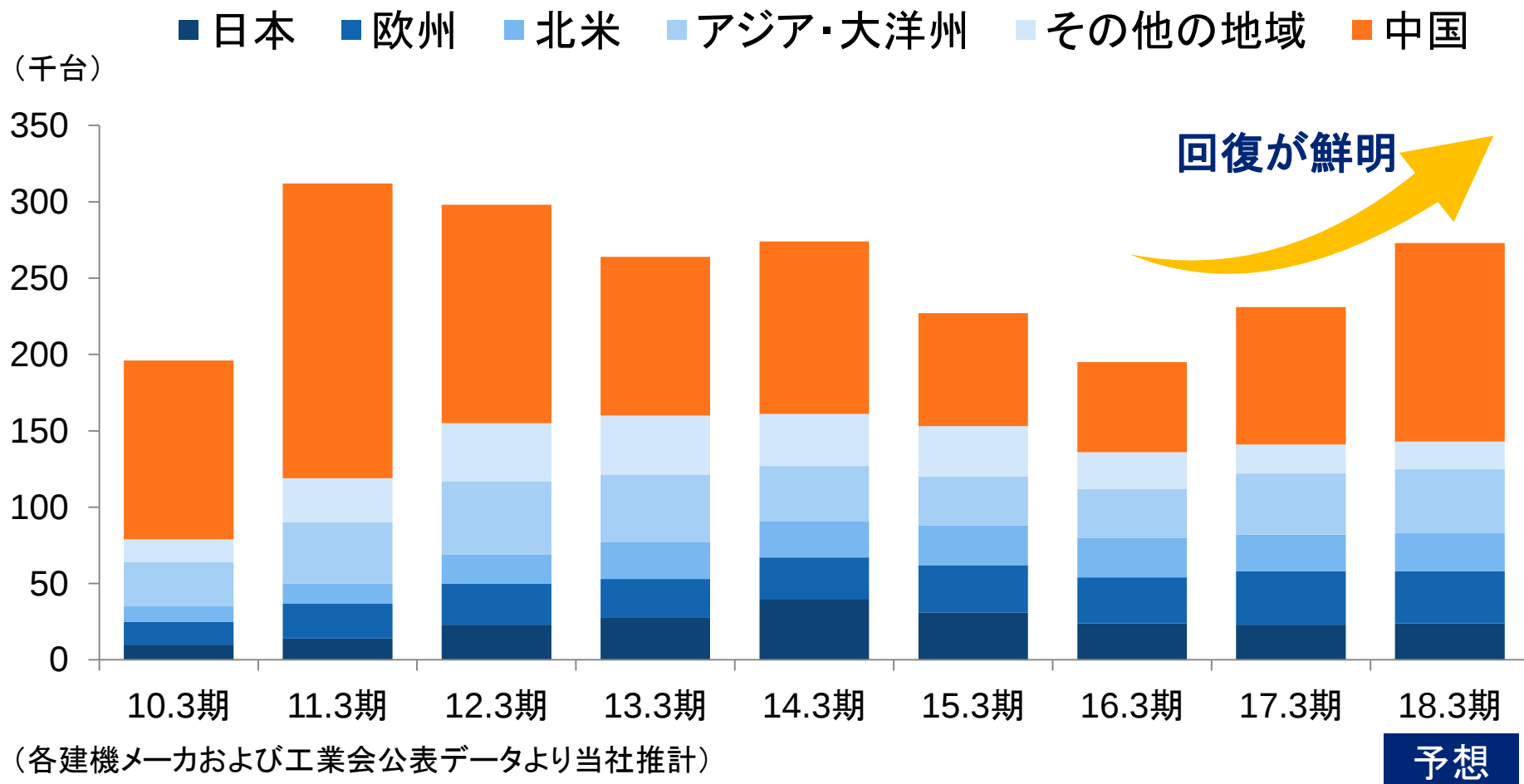
強い現場

BCP(事業継続計画)、ローコスト・
オペレーションの観点から、
サプライチェーンの再構築を図る

MAVY's、PAC17による
筋肉質な企業体質の構築

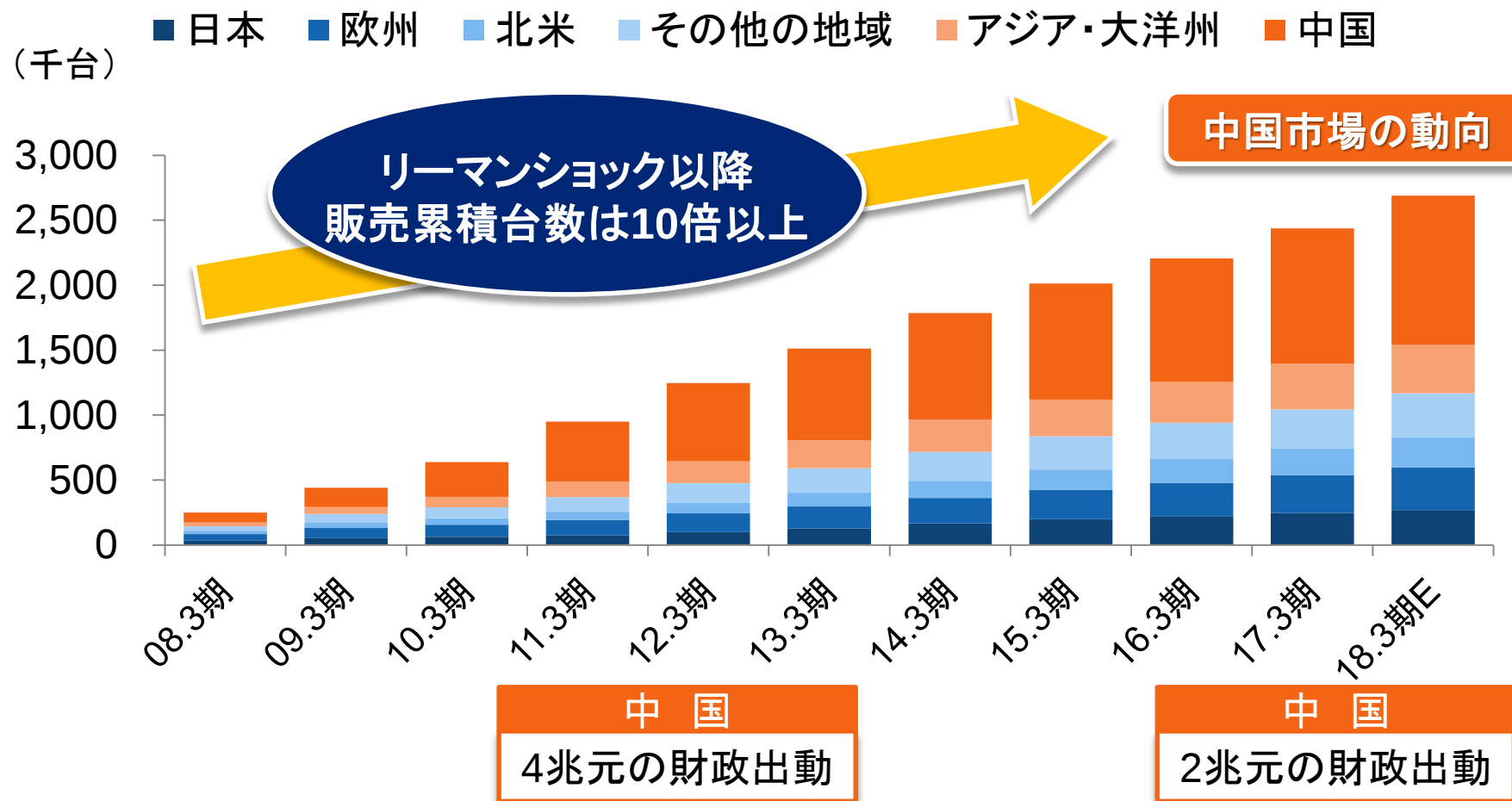
R&D拠点向けの大型投資計画
主要マーケットでの生産拠点開設投資

● 中国建機市場は、公共工事等により回復が続く見込み



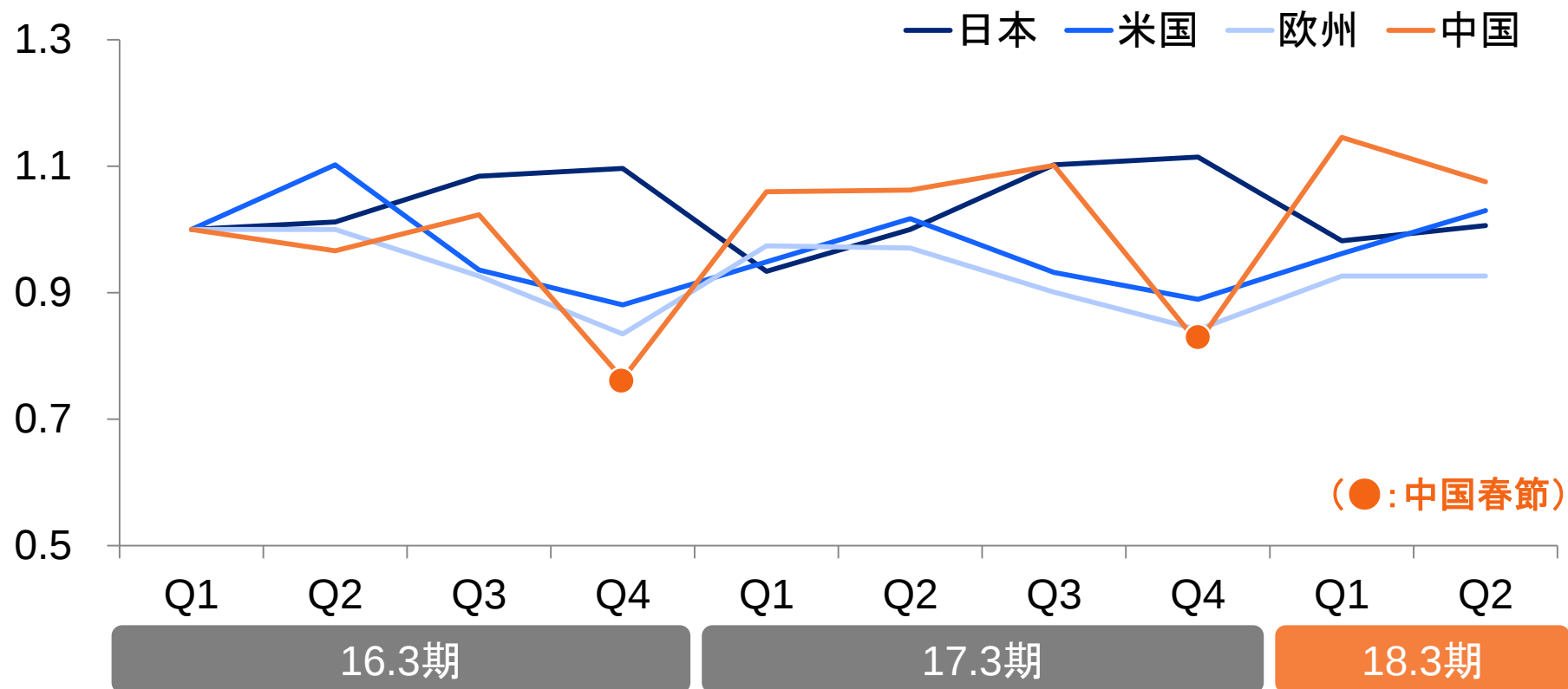
事業環境②/新車販売累積台数

リーマンショック以降も販売累積台数は増加



●「一帯一路」に絡むインフラ投資の拡大が建機需要を改めて喚起する見通し

(2015年4~6月の値を1.0として指数化、四半期ごとの推移)



出所: 野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

一帯一路とは

陸路で中央アジアから欧州に続く

『シルクロード経済ベルト』が『一帯』
南シナ海からインド洋を通り欧州へ向かう
『21世紀の海上シルクロード』を『一路』



現状のアラシャンコウ

～期待されるインフラ整備はこれから～



保安検査体制

～課題であった治安維持が進む～



- 「一帯一路に沸き立つ街」「成長著しい街」と新聞やマスコミで取りざたされているアラシャンコウではあるものの、実際に訪れると想像とはかけ離れた、未だ開発途上の小さな街であった。
- しかし、開発区の工事規模と中国の建設/開発のスピードを考えれば、今後、開発が急展開するものと予想。

2020年までの中国でのインフラ投資計画

鉄道網

高速道路

空港

目標

鉄道網は規模を拡大し、質・運送能力と設備水準を高める

2020年まで全ての農村の道路を開通する予定

全国80%以上の県レベルの行政部門は、地上交通100Km以内あるいは1.5時間以内の所要時間で、航空サービスを利用可能

現状

12万Km



15万Km

14万Km



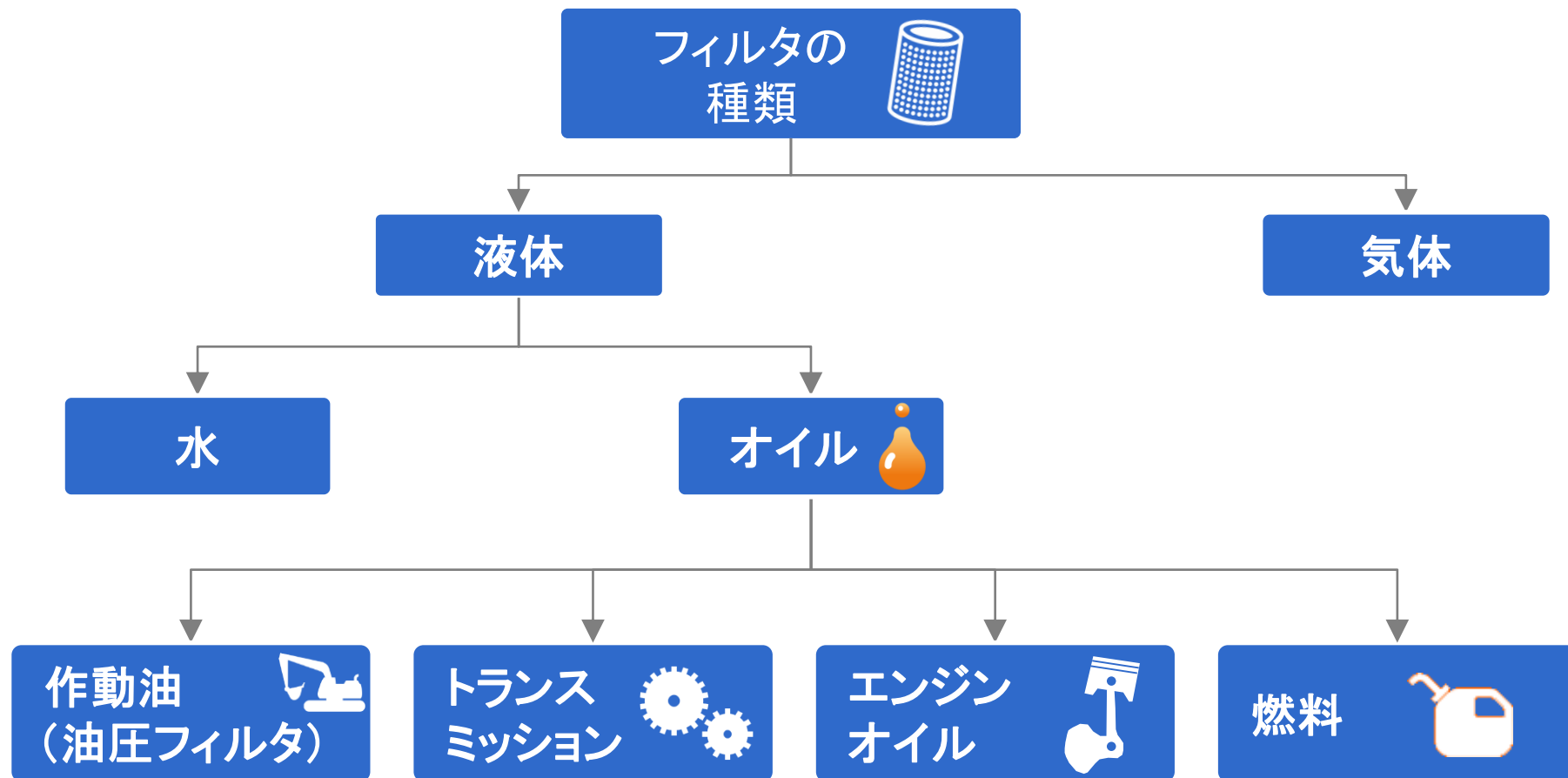
16万Km

218件



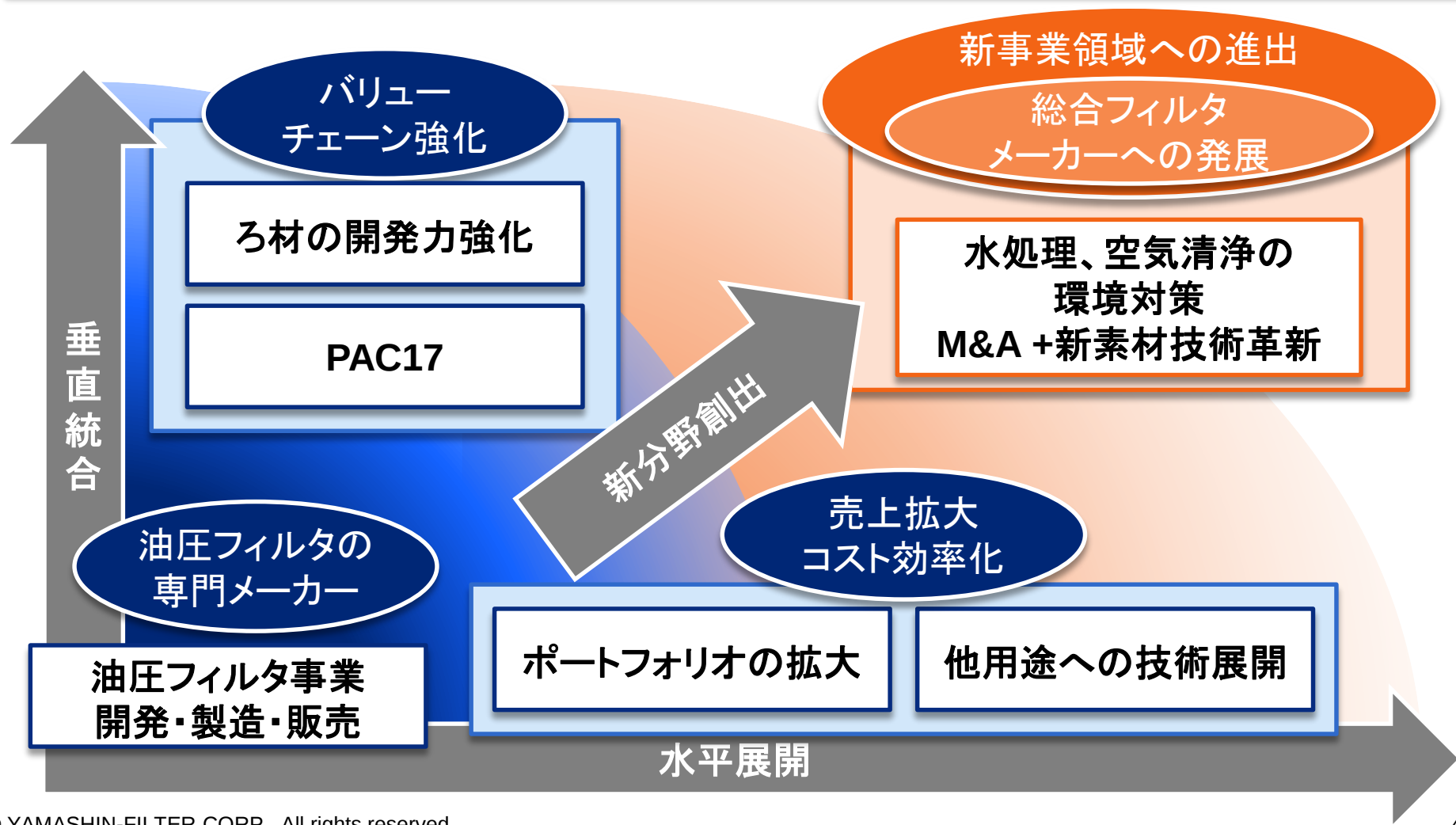
268件

- オイル以外の液体や気体分野への事業展開を目指す



新たなる成長への道筋

- 既存技術を基にした事業領域の拡大を図るとともに、産業、プロセス、エアを軸とした展開を目指す
- 新技術に代表される新しい事業領域への参入をアライアンス、M&Aを含め行っていく



● 中間配当7円、期末配当9円の年間16円に増配

1株当たり 配当金	16.3期	17.3期	18.3期E
	10円	12円	16円
DOE	2.0%	2.3%	2.8%
総還元性向	74.1%	25.6%	19.8%

※2018年3月期は、現時点での予定。

※2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割する株式分割を予定。

※2018年3月期の配当金額は、株式分割前の金額で記載。

※総還元性向=(配当総額+自己株式取得+株主優待)÷当期純利益

18.3第2四半期 実績

- 計画を上回る推移。好調な外部環境の下、MAVY's による企業価値向上を全社に浸透させる。

18.3期 通期計画

- ライン品が好調。下期、補給品の販売強化の基盤構築にも取り組む。
- 収益構造と製造基盤の強化。

事業ポートフォリオ の拡大

- M&Aによる既存事業領域の拡大。
- イノベーションによる新事業領域へ進出。

参考資料



当社決算の特徴

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「ライン品」と「補給品」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ
 - 重要指標は、「新車需要台数」
- 補給品は交換部品用のフィルタ
 - 重要指標は、「稼働台数」×「稼働時間」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- 販売形態
 - 建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売
エンドユーザへの直販は基本的に行っていない
- 地域別動向
 - 地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- PAC17 (Promptly Activated Cost reduction 2017)
 - 全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産

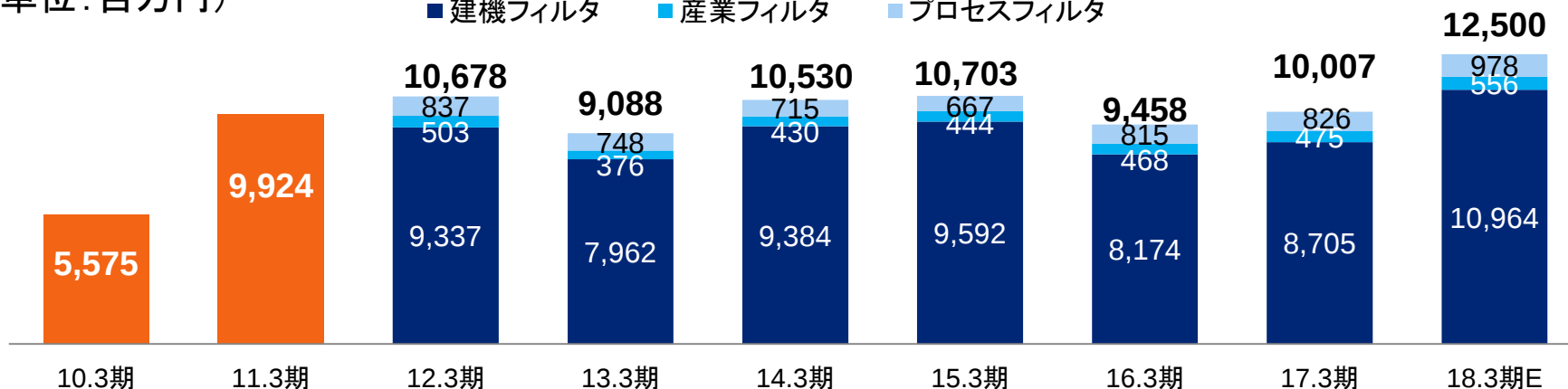
※四半期の損益計算書項目について年間換算で計算しております。

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

売上高

(単位: 百万円)

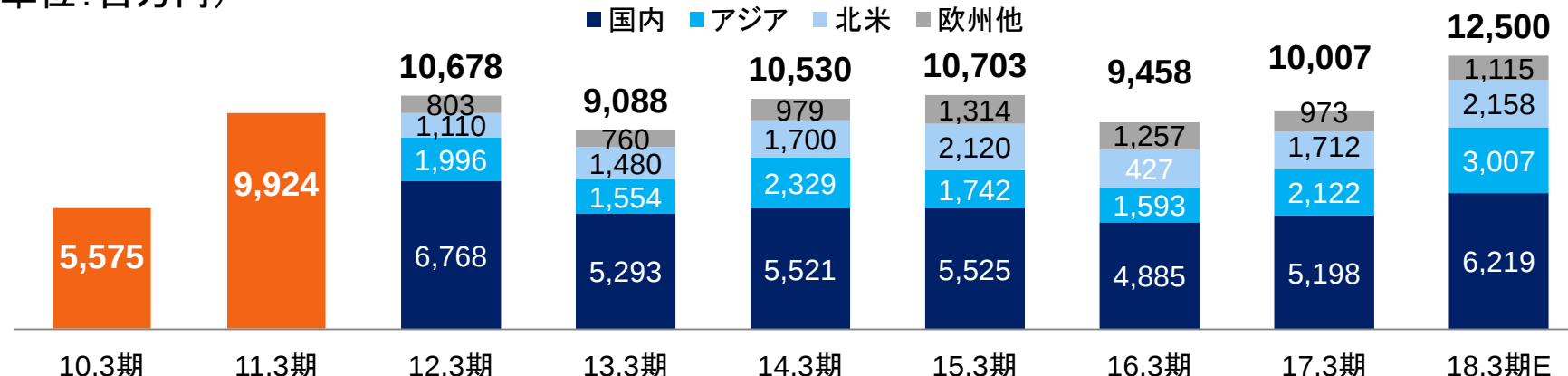
■ 建機フィルタ ■ 産業フィルタ ■ プロセスフィルタ



地域別売上高

(単位: 百万円)

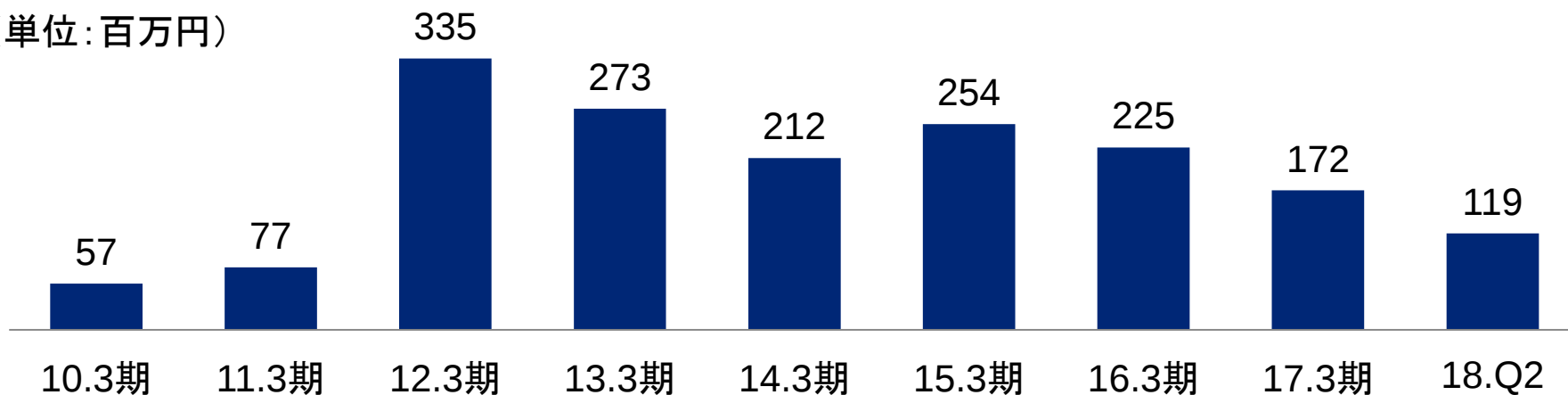
■ 国内 ■ アジア ■ 北米 ■ 欧州他



※12.3期までは単体、13.3期以降は連結。 ※地域別売上集計方法変更に伴い15.3期の金額内訳が変更になっております

研究開発費

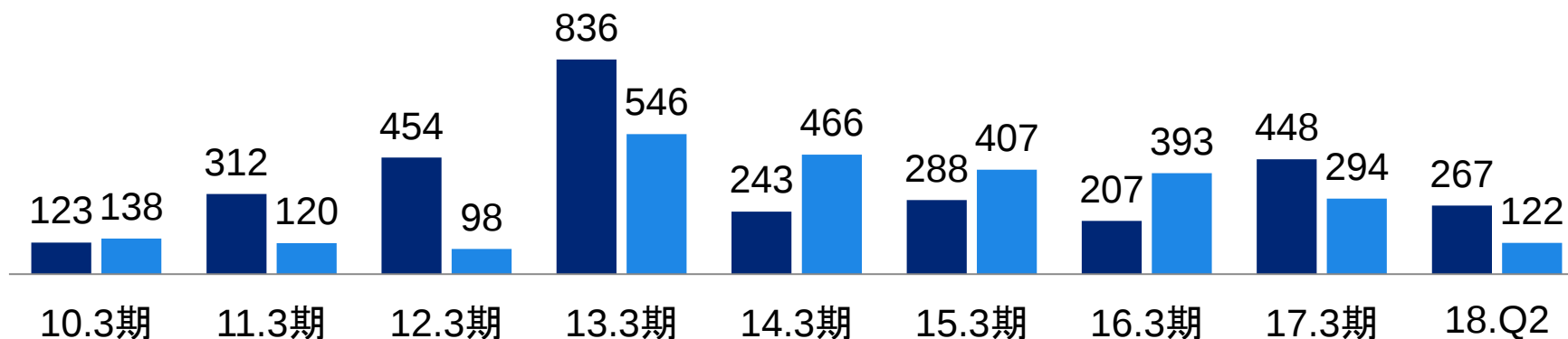
(単位: 百万円)



設備投資および減価償却費

(単位: 百万円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費

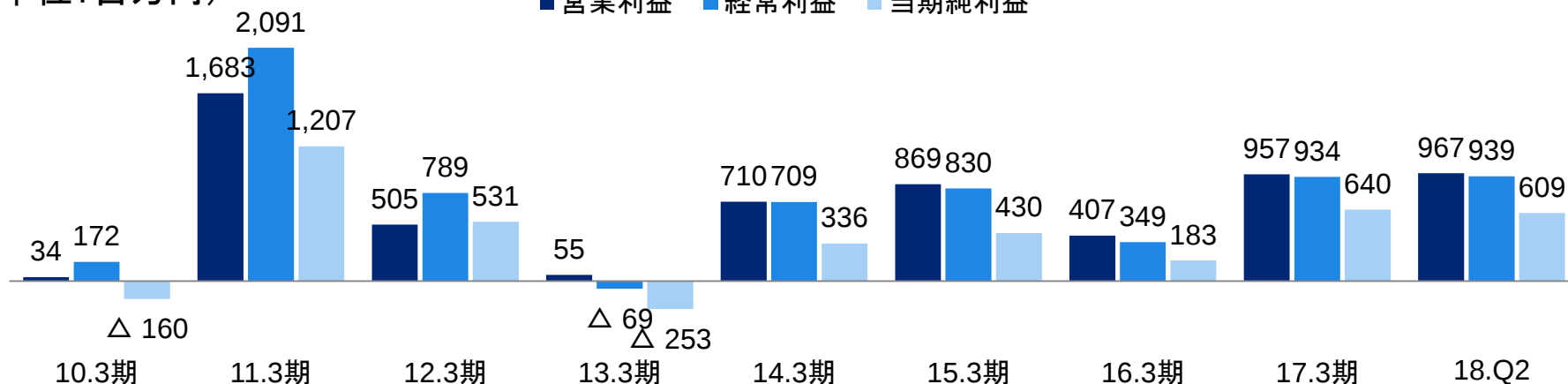


※12.3期までは単体、13.3期以降は連結

利益

(単位:百万円)

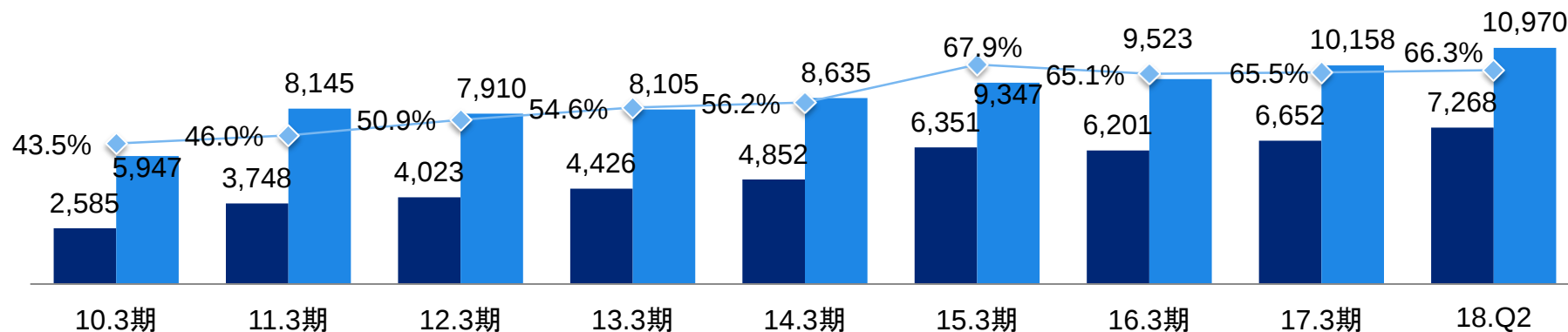
■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



純資産および総資産、自己資本比率

(単位:百万円、%)

■ 純資産額 ■ 総資産額 ◆ 自己資本比率



※12.3期までは単体、13.3期以降は連結

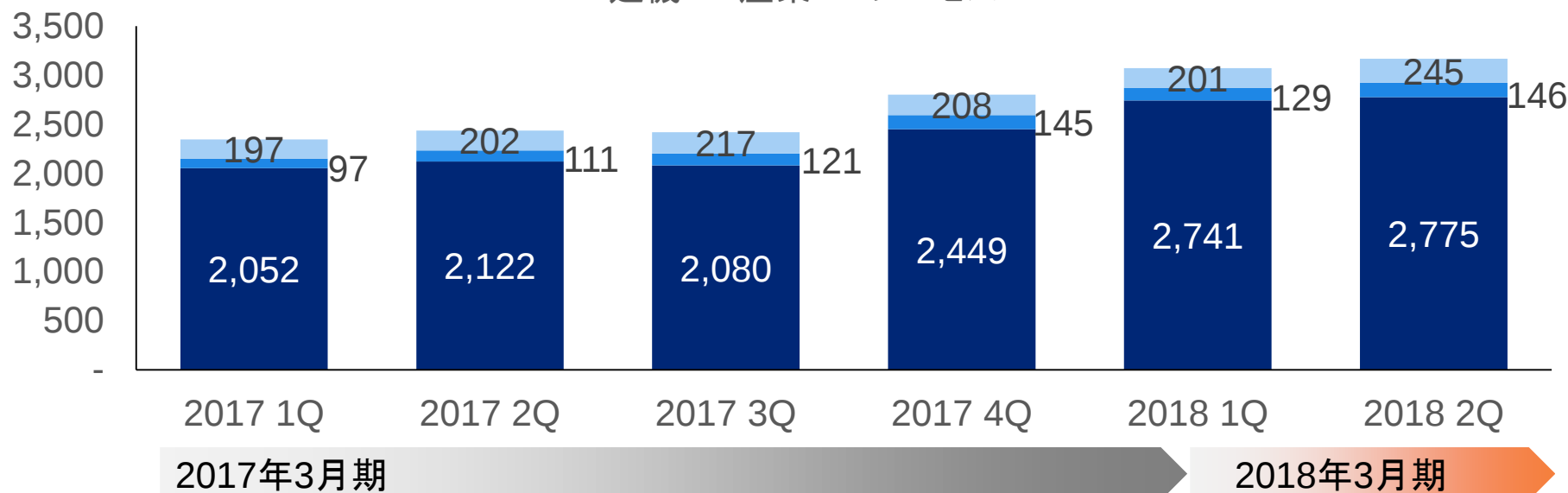
四半期別業績推移(製品別売上高推移)

(単位:百万円)

	2017年3月期				2018年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
建設機械用フィルタ	2,052	2,122	2,080	2,449	2,741	2,775
産業用フィルタ	97	111	121	145	129	146
プロセス用フィルタ	197	202	217	208	201	245
合計	2,347	2,436	2,419	2,803	3,072	3,166

(単位:百万円)

■ 建機 ■ 産業 ■ プロセス



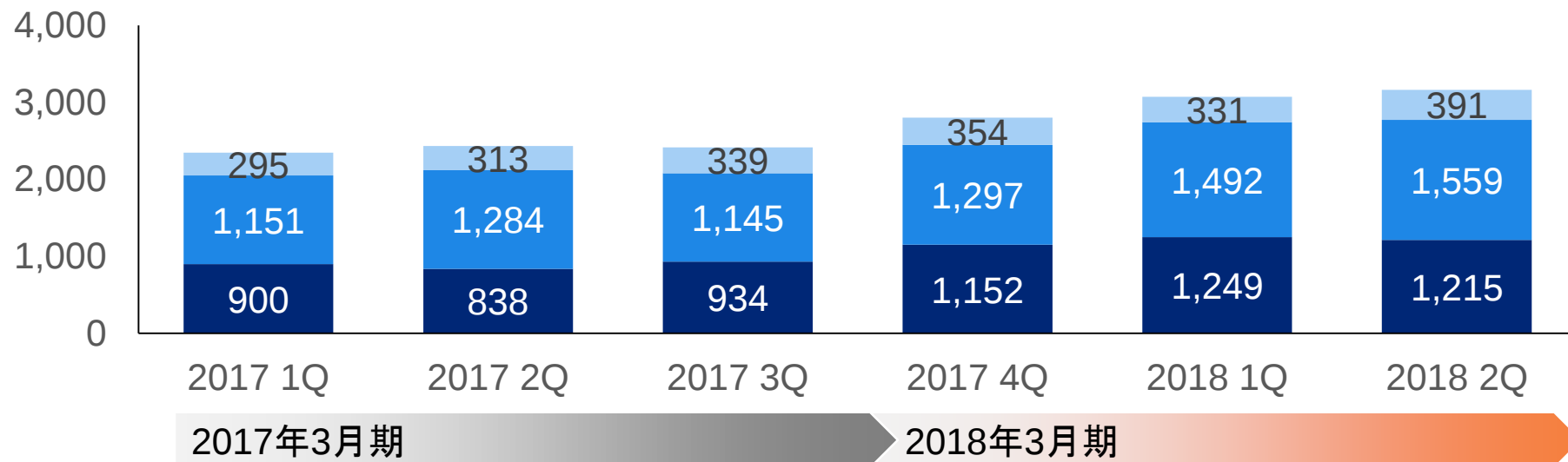
※連結調整項目は建機用フィルタに含めて表示しております。(有価証券報告書開示基準)

セグメント情報(製品別)(前期比) -YTD-

(単位:百万円)	2017年3月期				2018年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
建設機械用フィルタ	2,052	2,122	2,080	2,449	2,741	2,775
ライン品	900	838	934	1,152	1,249	1,215
補給品	1,151	1,284	1,145	1,297	1,492	1,559
産業用・プロセス用フィルタ	295	313	339	354	331	391
合計	2,347	2,436	2,419	2,803	3,072	3,166

(単位:百万円)

■ ライン ■ 補給 ■ 産業・プロセス



※地域別売上は、当社の請求書送付先である法人の所在地を集計しております。

※その他: その他地域の売上高を含めて表示しております。

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1680)
E-mail: ir@yamashin-filter.co.jp